

次号予告

特集 脳性麻痺

- 運動パターンと姿勢反射の役割..... 足立学園 松 浦 保 茂
 知覚の発達（正常児の発達を中心に）..... 都心障センター 江 口 洋 子
 脳性麻痺治療の原理（神経生理学的治療の原理）...足立学園 高 松 鶴 吉
 脳性麻痺の移動能力の予後..... 高知県立子鹿園 江 口 寿栄夫
 脳性麻痺児に対する外来的療育指導のあり方... 粕屋新光園 平 田 孝 子
 通園施設における療育指導のあり方.....西宮市立わかば園 早 川 義 貞
 と び ら 理論と臨床..... 都心障センター 今 村 哲 夫
 講 座 教育学シリーズV 教育心理(2)（人間の成長と学習）
 慶 応 大 松 本 憲
 失語症 4. 失語症のコミュニケーションのとり方...都養育院 遠 藤 尚 志
 プログレス Bobath 法と Vojta 法..... 聖母整肢園 梶 浦 一 郎
 養護・訓練..... 筑波大学 三 沢 義 一
 Recommended Readings <PT部門> 脳卒中・片麻痺.....甲州中央温泉病院 藤 本 欽 也
 <OT部門> ADL 訓練 横浜市立大学 生 田 宗 博
 文 献 抄 録
 資 料 第 13 回理学療法士・作業療法士国家試験問題
 一模範解答（Ⅱ）（1978 年度）

編集後記

理学療法士，作業療法士ともにそれぞれの国，社会，地域におけるニーズに対応して自らの活路を見出し，新しい職種（もう新しいとは言えないかもしれぬが）としての発展を遂げる事が望ましい。インドやアフリカでは癩病や寄生虫による機能障害に対処しているセラピストを見かけるが，その点我国はいわゆる文明国の仲間入りをしているので疾病構造も欧米型に近い。とすれば今後，我国でも内部疾患に対応出来るセラピストの数と質の確保が必要となるだろうし，障害を予防するという面でリハビリテーションプロセスの中の救急，慢性期と並んで予防面での需要が大となるであろう。

そのような意味も含めて今月は内部疾患の特集として呼吸器，循環器，虚血性心疾患，パーチェット病（特定疾患），尿路合併症でとりあげられているが各々力作であり参考になる点が多い。

理学療法学，作業療法学の発展，確立には地道な研究，報告も欠かせぬものであり，基礎的なもの，臨床的なもの，御自分なりの工夫でも，是非，編集部まで御寄せ戴きたい。両学会とも終ったので再び教育に，臨床に精進される事を願って止まない。

（荻島 秀男）

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院長
五味 重 春
筑波大学心身障害学系教授
砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長
津 山 直 一
東京大学教授・整形外科
水 野 祥太郎
川崎医科大学学長
（五十音順，以下同じ）

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部
荻 島 秀 男
わらび診療所
大喜多 潤
兵庫県リハセンター
鈴 木 明 子
府中リハビリ専門学校
寺 山 久美子
都心障センター
奈 良 勲
有馬温泉病院
福 屋 靖 子

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

大 橋 博
大 丸 幸
金 子 翼
鎌 倉 矩 子
紀 伊 克 昌
駒 沢 治 夫
佐 藤 章
佐 藤 馨
嶋 田 智 明
高 橋 正 明
武 富 由 雄
谷 岡 淳
富 岡 詔 子
中 屋 久 長
藤 沢 しげ子
松 本 妙 子
丸 谷 隆 明
矢 谷 令 子
山 下 隆 昭
和 才 嘉 昭
（担当 細田・西塚）